

用語集

用語	解説
アクションプラン	ある政策や企画を実施するための基本方針あるいは行動計画。
アクセシビリティ	公共交通施設などへのアクセスのしやすさを、交通機関の待ち時間等を含めて換算したもの。
アンブレラ計画	国土強靱化地域計画は、国土強靱化基本法第13条に基づき、都道府県又は市町村が定めることができる計画で、当該都道府県等の区域における国土強靱化に係る当該都道府県等の他の計画等の指針となるもの。(=国土強靱化地域計画)
一当・二当	交通事故当事者のうち、原則として過失の重い方を第1当事者(1当)、軽い方を第2当事者(2当)と示す。
移動困難者	1.歩行できるが、時間がかかる、歩みにくい 2.一人で車いすを利用 3.外出には付き添い、介助が必要 4.ベッドの上の生活が主体であり、外出できないに該当する者。
駅勢圏	鉄道駅を中心に、その駅を利用する旅客や貨物需要の発生地域。
駅端末交通手段	1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合、出発地・目的地と代表交通手段をつなぐ交通手段のことを端末交通手段といい、代表交通手段が鉄道の場合の端末交通手段を指す。
拡大処理	パーソントリップ調査はサンプル調査であるため、都市圏全ての人の動き(トリップ)を把握するために施す処理。サンプルデータを居住人口に合うように拡大する処理を指す。
キス&ライド	自宅から公共交通機関の乗降所(駅やバス停など)まで自動車等で家族(語源的には主に配偶者)に送り迎えをしてもらう通勤・通学形態。
公共交通カバー率	バス・鉄道から一定範囲内に含まれる500mメッシュに対して、メッシュ面積に対する一定範囲内に含まれる面積の割合で人口を按分した値の合計が、その地域の総人口に占める割合。
コーホート	同年(または同期間)に出生した人口集団。例えば、団塊世代コーホートとは、概ね1947～1949年に出生した人々を指す。
国土強靱化地域計画	国土強靱化地域計画は、国土強靱化基本法第13条に基づき、都道府県又は市町村が定めることができる計画で、当該都道府県等の区域における国土強靱化に係る当該都道府県等の他の計画等の指針となるもの。(=アンブレラ計画)
コミュニティバス	地方自治体がまちづくりなど住民福祉の向上を図るため交通空白地域・不便地域の解消、高齢者等の外出促進、公共施設の利用促進を通じた『まち』の活性化等を目的として、自らが主体的に運行を確保するバスのことを指す。※コミュニティバスの正式な定義が決まっているわけではない
死亡	「死亡」とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合(人)を指す。
重傷	「重傷」とは、交通事故によって負傷し、1箇月(30日)以上の治療を要する場合を指す。
集中量	ある地域に到着するトリップ。
集約型都市構造	圏域内の中心市街地や駅周辺等を、都市機能の集約を促進する拠点(集約拠点)として位置づけ、集約拠点と圏域内のその他の地域を公共交通ネットワークで有機的に連携することで、圏域内の多くの人にとっての暮らしやすさと圏域全体の持続的発展を確保する都市構造。

用語	解説
人口フレーム	フレームとは枠のことで、人口フレームとは将来の人口のおおむねの推計値の枠組みのこと。
趨勢時	趨勢時とは、現状の傾向のまま、何も手を打たなかった場合の状況を指す。
スケールメリット	規模を大きくすることにより得られる効果のことを指す。
ステークホルダー	計画に関わるすべての関係者を指す概念であり、市民の他、企業、道路利用者、関係行政機関等を含む幅広い主体を含む総称。
製品出荷額	1年間(1～12月)における製造品の出荷額のことを指す。
小さな拠点	小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲でつなぎ、各集落とコミュニティバスなどで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていき、新しい集落地域の再生を目指す取り組みを指す。
駐車デポジットシステム	規制エリアに車で進入する場合に一定額を乗り入れ課金として徴収するが、エリア内で駐車や店舗で買い物をした場合にその課金額の全部または一部をその支払いに充当するという制度。
デマンドタクシー	自宅や指定の場所から目的地(戸口から戸口)まで、お客様の希望時間帯、乗車場所などの要望(デマンド)に応じて運行するタクシー。
土地利用交通モデル	都市経済の実態や都市政策の実証評価を行うための検証式。家計や企業を含む立地者や活動の分布、土地利用や地価/地代、建物価格/建物地代の分布など、実態的な都市経済を表現することが可能。
トリップ	人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位。移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数える。
トリップ長	トリップの長さ。
パーク&バスライド	自宅から最寄りのバス停まで自動車で行って駐車し、そこからバスを利用して目的地まで移動する方法。
パーク&ライド	自宅から最寄りの駅やバス停まで自動車で行って駐車し、そこから公共交通機関を利用して目的地まで移動する方法。
バスロケーションシステム	車載器を積んだバスから、移動体通信を使用し車両ID(個々の車両を識別する番号)、時刻、位置情報(緯度・経度)などをセンタ側に一定間隔で送信し、センタ側で計算した結果として、車両の現在位置を把握し、インターネットや携帯電話などを通じて、利用者に対して路線バス・高速バスの運行状況やバス停への接近情報などを表示・提供することにより、バス利用の利便性の向上を図るシステムを指す。
発生量	ある地域を出発するトリップ。
フィーダー輸送	鉄道駅から自宅までといった端末的な輸送手段。
負のスパイラル	連鎖的に悪循環が生じること。
マスターデータ	実態調査結果をとりまとめた都市交通実態を分析するためのベースデータ。
ミッシングリンク	連続的な事象に対して、分断されている箇所。
モータリゼーション	自家用車が大衆に普及すること。モータリゼーションが進展する要因には様々なものがあるが、その中でも道路整備が前提となる。
モニタリング	状態を監視すること。または、状態を把握するために、観測や測定を行うこと。
モビリティマネジメント	1人1人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等)に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

用語	解説
ユニバーサルデザイン	誰もが安全で安心して社会参加するために、高齢者や障害者等はもちろん、歩行者の誰もが安心してスムーズに移動できる設計(デザイン)を指す。
ライフステージ	人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階を指す。
リーマンショック	国際的な金融危機の引き金となったリーマン・ブラザーズの経営破綻(はたん)とその後の株価暴落などを指す。 リーマン・ブラザーズは米国第4位の大手の投資銀行グループであったが、サブプライムローン問題などで経営がゆきづまり、2008年9月15日、米連邦破産法11条の適用を申請し破綻した。 信用度の低い人を対象とした高金利の住宅担保貸付け、サブプライムローンを証券化した商品を大量に抱え込んだため、住宅バブル崩壊で損失が膨らんだ。 リーマン・ブラザーズの破綻後、各国の対米大手金融機関が連鎖的に経営危機に陥るなど、金融不安が深刻化する。金融市場のマヒを防ぐため、各国政府は相次いで税金を投じて銀行に資本注入や損失保証を行い「金融機関の公的管理」に踏み切ったが、危機は実体経済に波及。日米欧は軒並みマイナス成長に陥った。
リノベーション	既存の建物に大規模な工事を行うことで、性能を新築の状態よりも向上させたり、価値を高めたりすること。
利用者便益	道路の利用に伴い道路利用者が負担する金銭的、時間的、その他すべての費用が、道路の整備によって軽減される効果であり、道路整備の有無による全道路利用者の総費用の減少として推計される。
ロードサイド	幹線道路など通行量の多い道路の沿線のことで、本計画では主には郊外の幹線道路の沿道を指す。
DID 地区	人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接し、それらの隣接した地域の人口が5,000人以上を有する地域。
PDCAサイクル	計画をたて(Plan)、それを実行し(Do)、内容を評価して(Check)、改善に結びつけ(Act)、その結果を次の計画(Plan)に活かす、反復・継続した管理手法。このサイクルを繰り返すことによって、計画内容の維持、向上及び継続的な実施を推進する。PDCAは「Plan-Do-Check-Act」の略。